

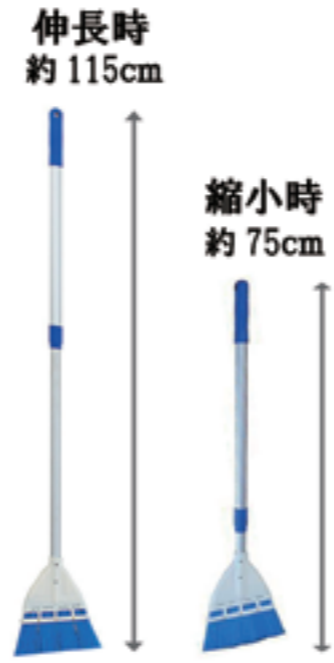
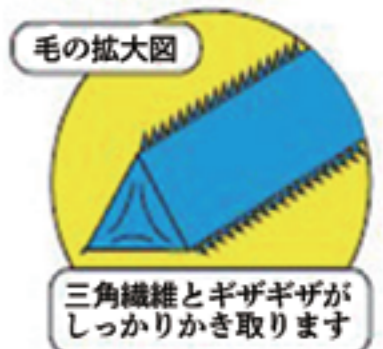
☆今月のオススメの商品☆

雪掃き、溝掃除、砂利寄せに！

ストロン超ハードホーキ

庭や階段に

- ◎毛が硬く、ギザギザになっているので濡れている面でも使用が可能。
- ◎軽くて丈夫な伸縮アルミ柄。
- ◎庭や階段の角掃除に最適。除雪作業にも大活躍！



¥1,810- (税込)

『おすすめの本』



「ボケない人がやっている脳のシミを消す生活習慣」
本間良子・本間龍介著

平尾 和重

普段何気なくおこなっている生活習慣は実は体に悪いものかもしれない。現役のお医者様が書かれている本書は普段の食生活が脳機能に影響を与える可能性を指摘し、それらを改善して「脳」機能の向上と健康的な生活を送る事を提案をしています。すべての内容が正しいのかはわかりませんが人体に悪影響を与えるものを取り込まない、体の外に出すという考え方はとても共感できます。ナッツやコーンシロップのカビ毒、小麦のグルテン、重金属など体に悪いと言われるものと無縁でいられない現代、本書で紹介する正しいデトックス法を知る事はとても有意義な事だと思います。

医療はどんどん進歩しております。過去には良いとされてきたことが現在は異なる場合があります。何が正しいか、正しくないかは私達が自ら選んでいく必要があります。物忘れが気になる方や体調不良の方だけではなく、現在健康な方にも情報の一つとしてオススメの一冊だと思います。

謹賀新年

ねもかな通信

No.102

令和2年
1月号

発行人
ねもかな

〒960-8032
福島市陣場町9-28
TEL 024-534-0962
FAX 024-531-3024

優ライフ情報

今月の「わいわいクラブ」は二月二十九日(水) (午後二時)です。皆様のご参加お待ちしております。



『分ける』

根本 勉

あけましておめでとうございませす。昨年中は大変お世話になりました。今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、今から約20年位前に、とある研修で出会った先生から貴重なアドバイスを頂きました。

そのアドバイスとは「中小企業は分けることが上手くいっていい所が多いんだよね！」との一言でした。そのたった一言が背筋を伸ばしてくれた瞬間でした。なるほど言われてみれば自分の場合、優先順位の付け方や仕事と私生活の分別、親子・夫婦などの区別等あらゆる部分で曖昧にしてきた様に思います。

つまり、何かを決める時の判断基準が自分にとって都合のいい基準を優先していたと思います。そこで、先生から教わった分別の仕事として、四つに分けてみることに

にしました。一つは必ずやらなくてはならない事、その反対側に絶対やってはいけないことを縦軸に置き、次に横軸にやったほうがいい、その反対側にやらないほうがいい、といった具合に四つに分けてみることにしました。

確かに全てが万事上手くいく訳ではありませんが、意識して分ける様にすると頭の中が少し整理されてきます。おそらく頭の中の整理整頓がある程度習慣づけられると、色々な面で今まで見えなかった事が見えてくるようになってまいりました。

面白いことに視覚障害者の私でさえ今まで気づかなかった事でもわずかながら少しづつ反省も含め、気づくようになってきたのです。勿論まだまだですが以前から比べると業務遂行がだいぶ楽になりました。例えば社員さんたちに何かお願いするときに、私から指示したほうがいいのか、或は本人に判断して

『冬の散歩・・・』

根本 三枝子

あけましておめでとうございませす。今年も面白い情報や健康に関する情報収集に努めてまいりますので宜しくお願い致します。

ある朝の感想です。私は朝5時半頃から一日の活動が始まりますが、この時期は夜明けが遅くまだ暗く遠目がききません。おそらく健康の為に歩いている方が何名かおられます。歩道のない所では運転する側にとって発見が遅れがちですが、そんな中たまたま懐中電灯と反射付タスキをされている方を見かけました。やはり朝夕暗くなり始めの頃は、発見が遅れがちになります。反射靴や反射ベスト等を使用する事で自分を守る事は勿論ですが、相手にとっても思いやりのある行動だと思います。もし健康に留意されるのであれば事故から身を守るためにも十分な配慮をなされることをお勧め致します。



メンバーの小部屋

趣味のことから思った事、感じた事など自由にコメントしております。楽しんで頂けますと幸いです。



『フライドダイコン』

平尾 和重

先日、この季節に大量にある大根を消費する新たな調理方法をインターネットで検索していた所、「フライドダイコン」なるものがある事を見つけた。作り方は簡単で大根をフライドポテトと同じようにカットし、小麦粉を付けて揚げるだけ。もしかしたら大量消費の救世主メニューになるかもしれないという期待と美味しくないのでは？という不安を抱きながら奥さんにさっそく作ってもらいました。

家族でさっそく試食会。結果として揚げたてはなかなかの美味で家族からの評価も上々でした。ジャガイモのようなホクホク感はありませんがしっとりした食感はちょっとしたクセになりそうです。ただ、揚げるという調理方法が片付けを含めてちょっと手間がかかるので救世主とまではならないようです。やっぱり今の季節は「おでん大根」が一番のような気がしますね。



『連絡手段』

佐藤 信吾

お客様とカタログを見ながらやりとりをしていると、今まではコピーをして紙をお渡ししていましたが、最近ではスマートフォンの写真機能で撮られていく方が増えました。それを大工さんや協力業者の方のスマートフォンに画像を送り、現場ですぐ商品を確認できるようにします。早ければその場で返事が来て商品が決まってしまうわけです。

スマートフォンも画質が綺麗で、何より拡大してもほとんどぼやけないのです。(錠前や戸車の刻印もはっきりと分かります) また、現場にいるとファックスでは対応できないので、最近ではメールで携帯に画像を送ってほしいというお客様も増えてきました。

これからどんどんITが進化しますので、我々もそういう部分に強くなっていかなくてはならないと感じました。



『おなまえ』

我彦 武大

明けましておめでとうございます。ところで皆様はNHKで毎週木曜日に放送しております「日本人のおなまえっ!」という番組をご存じでしょうか？私は名前の由来など知るのが好きで見えております。あとは私の名字が取り上げられないかチェックしております。

ちなみに我彦(わびこ)という名字は山形の米沢にいます。祖父の代に福島に住み始めたので、人数はどれくらいいるのか、由来に関しても分かりません。もし知っている方がおりましたら、教えてください。

そういえば、前回のねもかな通信の読書感想文の担当の名前が「我彦武彦」と間違っておりました。まるで芸名みたいですね(笑)。実は学生の頃にも、印刷物に同じような間違いがありました。名字が珍しいと名前がなかなか覚えてもらえない、珍しい名字あるあるでした。



『お客様の声』



我彦 武大

～ユタカメイク ラップメイト D A-228-6～

ラップメイトという商品はよく梱包に使われるプチプチタイプの緩衝材になります。弊社では1200mm幅×42m巻で在庫しておりましたが、今回お客様の声で新たに600mm幅×42m巻と半分の幅のものが入荷しました。ちょっとしたものの梱包に600mm幅が最適なんだそうです。

用途は主に荷物の保護、養生に使われますが、また今の時期ですと、車のフロントガラスにワイパーなどで押さえておくだけで、ガラスの凍結防止としても使えます。600mm幅だとフロントガラスの高さにちょうどいいかもしれませんね。

お値段も600mm幅×42m巻で1540円(税込)で、1200mm幅×42m巻で2077円(税込)になります。ぜひお買い求めください。



『ちょいメッセ』



佐藤 信吾

2020年は東京オリンピック開催の年ですね。2013年9月に開催が決定してから国立競技場の建設、マラソン競技札幌開催への変更など課題、問題点もありましたが、福島市での野球・ソフトボール競技の実施など県民にとっても嬉しいニュースがありました。

個人的にはバドミントン競技に注目しています。男子の桃田選手をはじめ、女子もシングルス、ダブルス両方で世界トップランカーが揃い、一番金メダルに近い種目ではないかと個人的には感じています。最近ではテニスや卓球、バドミントンなどの日本ではあまりメジャーではなかったスポーツの活躍が目覚ましいですね。また、10代から世界で活躍する選手が増えてきており、各競技の連盟、協会による選手強化が確実に実を結んでいるのかと思います。

また、若い選手が台頭するとともに、年齢を重ね、今までのパフォーマンスが維持できなくなっていく選手がいるのも事実です。私がちょうど高校生の頃は、野球のイチロー選手がメジャーリーグのシーズン安打数記録を塗り替えており、そのイチロー選手が打てなくなっていく姿を想像することがまったく出来ませんでした。トレーニングを常に怠らないイチロー選手でも加齢のせいもあり、キャリア終盤では打率が2割台と低迷していました。ただそれでも45歳まで現役でいられたことは素晴らしいと感じます。

今回の東京オリンピックも金メダルを期待される若い選手が多くいます。1964年の東京オリンピックでは、日本は金メダル16個を含む29個のメダルを獲得しました。当時の金メダル獲得競技はボクシング、レスリング、ウェイトリフティング、柔道、体操、バレーボールでした。今回もこれらの競技で金メダルを獲得できるか、はたまた違う競技で獲得するか気になるところです。金メダルの獲得数も前回の東京を超えられるか、今から期待しています。